

令和3年度 延岡市立東海東小学校 学校関係者評価書

4段階評価 4・・・期待以上 3・・・ほぼ期待どおり 2・・・やや期待を下回る 1・・・改善を要する

花いっぱい ゆめいっぱい やさしさいっぱい 東海東小学校

「ゆめ」「やさしさ」のある子どもを育てるために・・・

- ① 多くの知識や技能を身に付けさせる。
- ② 実体験を通して自信を付けさせる。
- ③ 「思いやり」「勇気」といった価値観に触れさせるコミュニケーション活動の充実を図る。

| 評価項目 | 評価指標 | 学校の自己評価コメント (○成果 ●課題等) | 自己評定 | 学校関係者評定 | 学校関係者コメント |
|------------------------------------|---|---|------|---------|---|
| 学力の向上 と授業力の 向上 | 基礎学力の確実な定着 | <p>○学習内容を授業中の習熟の時間やプレテスト、宿題等で取り組んだことで、ワークテストにおいて多くの児童が8割を超えることができたが、個人差も大きい。</p> <p>●学力テストでも力が発揮できるよう、授業の工夫及び家庭学習の習慣化を図り、学習内容の確実な定着をめざす。</p> <p>○朝読や週1時間の読書時間の設定、すき間読書等に取り組むとともに、学校図書館の利用を促し読書活動の推進を図った。</p> <p>○新聞投稿を行い、掲載されたことで意欲の向上につながった。週末に取り組ませるなど、文章を書く機会を作っていく。</p> | 2. 5 | 2. 9 | <p>○点数だけで学力を測ることは難しいと思います。ただ、めざすところに到達していない内容や項目があるとしたら、その定着に向けて一層の改善が必要であると考えます。</p> <p>○授業を参観させてもらいましたが、どの学年どの学級も落ち着いて授業が進められていました。学力検査の結果も参考にしながら、いかに子どもたちのやる気を導き出すか、家庭学習の習慣が測られるか等が難しいですね。</p> <p>○コロナ禍の中での授業は、先生方の負担が大きかったと思う。</p> <p>○東海東小児童の作文をラジオで聞きました。感性豊かな文章でした。給食の時間に作文の発表等はあるのでしょうか？もし自分の作文がスピーカーから発信されたら嬉しいでしょうね。</p> <p>○学力テストの平均がよくわからないの</p> |
| | ① 各教科のワークテスト・学力検査で個人到達率80%をめざす。 | | | | |
| | ② 各学力調査において、全国・県の平均以上の得点率を目指す。 ※ 全国学力テスト(6年・5月) 県学力テスト(5年・12月) | | | | |
| | ③ 家庭学習の手引きを活用しながら、家庭学習の定着を図るとともに、宿題等の提出率が100%になるようにする。 | | | | |
| | ④ 読書活動推進のための手立てを工夫しながら、各学級で月ごとの読書量の目標を設定し、それを超えるように取り組む。 | | | | |
| ⑤ 表現力の向上に向けて、作文等の作品応募や新聞投稿を積極的に行う。 | | | | | |

| | | | | |
|--|--|------|------|--|
| | | | | でちゃんとした評価が難しいのですが、学力の個人差が大きいと家庭学習・読書活動も個人差が大きい気がします。低学年のうちから本に慣れてもらうとよい気がします。読書も学力向上につながると思います。 |
| 教職員の授業力の向上 ① 「わかる できる」まで「教える 引き出す」授業を目指して、授業研究や相互授業参観を年1回以上行う。 ② 授業においてICTの効果的な活用を図るとともに、児童用タブレットPCの活用を推進する。 ③ 指導力の向上を目指して、メンターチームにおける指導技術についての協議を充実させ、OJTを推進する。 | ○研究授業や模範授業及びお互いの授業を参観し合うことで、授業改善につなげることができた。 ●タブレットPCが導入され、高学年から順に授業への活用を図っていった。タブレットPCを使う意図や効果的な活用法について研修する機会を設定し、さらなる活用を進めていきたい。 ○年間を通して同じチームで研修を進めていくことで、お互いの考えを交換し合い、指導法や学級経営等について技量を高め合うことができた。 | 2. 5 | 3. 3 | ○社会の変化に伴い教育指導の在り方も変革が求められています。先生方の授業改革への取組に敬意を表します。 ○児童理解を基本に、個に応じた指導やタブレットを活用した指導法もしてほしいですね。 ○ICTの活用は便利であるが、すぐに効果は期待できないと思う。すぐに対応できる児童とそうではない児童がいるのでは。 ○日々、進化・深化している教育現場。そして子どもたちは生活環境が刻々と変化している。先生方くれぐれもご自愛頂きながら子どもたちの成長を支えてください。 ○来年度もし休校になるような場合、タブレットPCを自宅で活用して授業をすることもあるのか。 ○コロナの関係で授業研究や授業参観が少なかったと思いますが、ほぼ期待通りだと思います。 |
| 温かい人間関係づくり ① 生徒指導の三機能を生かし、いじめや差別のない温かい学級づくりを目指す。 ② 毎月1回、悩みアンケートを実施して早期解決を目指すとともに、ハートフル委員会での情報交換をもとに共通指導を行う。 | ○ハートフル会議等では、全職員で情報交換を行い、児童の実態把握に努めた。さらに、対応策や手立てについても協議していきたい。 | | | ○東海東小学校は子どもたちや先生方が明るく元気がよいですね。一人一人を大切にしたい経営や教育活動が行われていると感じています。 ○学校に行くのが楽しいと思える子ども |

自信と
思いやりの
心の育成

| | | | | |
|---|--|-------------|-------------|--|
| <p>③ 教育相談を年3回（学期1回）設定し、児童全員との対話をもとに、児童の状況を把握し、問題解決に努める。</p> | <p>○こころカード（アンケート）をもとに教育相談を行い悩み事の把握と解消に努めた。児童間でトラブルが見られた際には、複数の職員ですぐに対応し解決を図っていき徐々によくなりつつあるが、根強いものが見られる。今後も適宜指導を行っていきたい。</p> | <p>2. 8</p> | <p>2. 9</p> | <p>たち・学級・学年にしてほしいと思います。いじめのない学級づくり、不登校を出さない学級づくりに励んでください。 ○こころカードとハートフル会議での情報交換は解決につながると思う。しかし、漏れる児童もいるかもしれない。その対応が課題かもしれない。 ○いじめや差別は絶対にだめであり、もしそのような事態が起こったら、保護者との情報共有をするべきだと思います。来年度は、さらにもう少し開かれた学校へ…。</p> |
| <p>基本的生活習慣の定着</p> <p>① 生活リズムの取組の達成率を次のようにする。 ・ 早寝早起き80% ・ 朝ごはん100% ・ ゲーム、テレビのきまり80%</p> <p>② 学校のきまりについて、毎月1回、児童が自己評価を行う機会を設け、学校生活の規律達成を90%以上にする。 ・ あいさつ ・ 返事 ・ 履物並べ ・ 無言清掃</p> | <p>●朝ごはんはほとんどの児童が食べてきているが、他の項目については目標を下回っている。特に家庭でのゲームやスマホ等の動画視聴によって、生活リズムの乱れや人間関係への影響も見られる。具体的な取組の紹介をする等、更なる家庭への啓発をしていく必要がある。 ○「学校きまり」については、まだ十分とはいえないが、意識が高まり実践している児童も増えてきている。</p> | <p>2. 0</p> | <p>3. 0</p> | <p>○地域で子どもたちと出会うことがありますが、気持ちのよいあいさつをしてくれます。 ○挨拶や会釈、履き物並べ、後始末等ができる子どもが増えるといいです。 ○家庭の問題であるので、学校が介入できるのも限度がある。しかし、啓発は必要と思う。 ○ゲーム・スマホに関しては今後も重要課題かと思っています。 ○家庭でのゲームやスマホ等は学校が管理できない部分でもあります。研修等で講師を招いてのお話は、ぜひ来年度も繋げてほしいです。挨拶はいつも元気よくしていて気持ちがいいです。</p> |
| <p>体験活動の充実</p> <p>① 授業や学習活動の中に、積極的に体験活動を位置付ける。 ② 花いっぱい運動を充実させ、責任をもち、進んで世話をしようとする実践力を育てる。</p> | <p>○栽培活動（花、ミニトマト、サツマイモ、玉ねぎ）や一人一鉢に取り組み、意欲的に世話をする児童も増えてきた。世話をする時間の設定や声かけ行いな</p> | <p>2. 5</p> | <p>3. 3</p> | <p>○できる範囲で体験活動に取り組みされていることはすばらしいと思います。子どもたちには貴重な財産になっていると思います。 ○体験活動は工夫次第でもっと実践でき</p> |

| | | | | | |
|----------------------------------|--|--|------|------|--|
| | | <p>がら実践力を育てていきたい。</p> <p>●コロナ禍で、制限したり実施できないものも多くあった。</p> | | | <p>るのではないと思う。</p> <p>○コロナの影響で体験活動はなかなかできない年でしたので、来年は色々活動できることを願うばかりです。</p> <p>○コロナ禍で制限の中での体験活動をして頂き、子どもたちにとってもいいことだと思います。土や草等に触れることはいいことだと思います。</p> |
| | <p>特別支援教育の充実</p> <p>① 児童及び保護者の困り感を理解し、その解消に努めるとともに、サポート・相談体制の充実を図る。</p> | <p>○特別支援教育コーディネーターを中心に、困り感を把握しその解消に努めた。</p> <p>○外部コーディネーターの存在を保護者にも紹介し、困り感の軽減を図った。</p> | 2. 9 | 3. 4 | <p>○困り感のある子どもたちへの温かい関わり、支援が必要な世の中になってきているので、子どもたちにも理解させてほしいです。</p> |
| <p>基礎体力、耐力の向上と健康教育の推進</p> | <p>体育科授業等における基礎体力づくり</p> <p>① 体育の時間には活動の場やルールを工夫し、実運動時間を30分以上確保する。</p> <p>② 昼休み時間、「みんなで遊ぶ日」を適宜設定し、晴れた日の外遊びを推奨する。</p> <p>③ なわとび運動や持久走の取組を工夫しながら、走・跳の力や持久力の向上を図る。</p> <p>④ 日々の指導の中で、個別の目標やめあての達成に向けて、粘り強くやり抜く（続ける）態度を身に付けさせる。</p> | <p>○コロナ禍で制限はあるものの、体育の授業では週3時間確保できるようにし、内容も工夫しながら実運動時間の確保に努めた。</p> <p>○多くの学級でみんなで遊ぶ日を設定し、外での遊びを推奨していった。その日以外でも外で遊ぶ児童は多い。（職員も一緒に）</p> <p>○1～2月になわとび運動に取り組んだ。粘り強く取り組む態度の育成に努めた。</p> <p>●コロナ禍による体力の低下が課題である。</p> | 2. 8 | 3. 4 | <p>○体を動かすことが大好きな子どもたちにとって、今の状況は辛いです。先生方がコロナの感染防止に努めながら運動量の確保に努めておられることに頭が下がる思いです。</p> <p>○運動好き、活動的な子どもたちが多いのが、東海東小の特徴だと思います。たくましさや粘り強さも培ってほしいです。</p> <p>○児童達は先生との外遊びは楽しいと思います。一人でも多くの児童に外遊びの楽しさを知ってほしい。内容に工夫も必要かもしれません。</p> <p>○コロナが直接影響する活動なので、今年も運動会が制限される中での開催を余儀なくされました。来年は通常の実施ができることを願います。</p> <p>○みんなで遊ぶ日はいいと思います。仲</p> |
| <p>基礎体力、耐力の向上と健康教育の推進</p> | | | | | |

| | | | | |
|---|---|------|------|--|
| | | | | 良くなれるしいじめも減るのでは…。コロナ禍で体を動かす時間が減っているので、来年度も体力作りに少し力を入れてほしい。 |
| 健康教育の推進 | ○保健だよりを発行し、保健に関する情報を啓発することができた。 | 2. 8 | 3. 5 | ○健康な体と心づくり、とても大切なことです。学校での指導では限界があると思う。もっとPTAが協力してもよいのでは。 ○メディアに関する講話は、本当に聞いてよかった。ぜひ多くの保護者、そして児童（高学年くらい）にも一緒に聞いてほしい。 ○全てにおいて家庭の協力が必要になってくると思います。プリントを渡しても子どもが渡さなければ親の目には届きません。メール等を使つての連絡もありかなと思います。 |
| ① 定期的に、「保健だより」を発行し、保護者の健康教育に対する意識を高める。 | | | | |
| ② 長期休業前の啓発等の工夫をとおして、むし歯のない児童や治療が終わった児童が全校で80%をこえるようにする。 | ●むし歯治療については、個別指導等も行ったが治療率が伸びてこない。家庭の協力が不可欠である。 | | | |
| ③ 弁当の日を夏季休業中に設定し、事前・事後指導を充実させ、食と健康について親子で考えたり、実践したりする。 | ●弁当の日については、家庭の状況も様々であり、どのように取り組むのがよいのか再検討していく必要がある。 | | | |
| ④ 新しい行動様式を取り入れた生活指導を積極的に行い、感染症予防に努める。 | ○コロナ禍の中で、児童は手洗い・うがい、消毒、マスク、3密の回避等、頑張つて取り組んでいる。家庭の協力も得ながら感染状況に応じて対策を行い、校内での感染拡大は防ぐことができている。 | | | |
| ⑤ 児童のメディア利用についての実態を把握し、メディアコントロールのための指導を推進する。 | ●生活振り返りカードでメディア使用状況を把握し学校で指導を行っているが限界がある。学校保健委員会でメディアに関する講話を行い、好評であったが、参加人数が少なかったのもっと多くの保護者に参加してもらおう手立てをしていきたい。 | | | |
| 地域とのつながりの充実 | ○ホームページの更新を随時行い、学校の様子を発信できた。 | | | ○ホームページ等で学校の様子を伝えていただきありがとうございます。 |
| ① 月1回「学校だより」を発行するとともに、週に3回以上学校 | | | | |

| | | | | | |
|-----------------------|--|---|------|------|--|
| 保護者、 地域との 連携・協働 | <p>ホームページを更新し、学校の情報を積極的に発信する。</p> <p>② コミュニティ・スクール導入を見据え、地域との関わり方について研修を進めるとともに、学校と地域のつながりの場を広げる。</p> <p>③ 東海東小学校協力者ネットワーク会議を開催し、区長・公民館長・民生委員・児童委員との情報交換や連携を深める。</p> <p>④ 権伝馬踊りの伝承活動に取り組み、たくさんの人の前で披露する機会を設ける。</p> | <p>○4年生が権伝馬踊りの伝承活動に取り組んだ。発表の場がなくなったのが残念だった。3年生は地域の人とランドゴルフで交流をした。今後も取り組んでいきたい。</p> <p>●コロナ禍で十分な実施ができなかった。</p> | 2. 5 | 3. 2 | <p>○コロナ禍で地域との連携や関わりが制限される場所もありますが、できる範囲で情報を発信し、地域の素材（人材）を活用した取組を推進していただければと思います。</p> <p>○今の時代ホームページでの発信は効果あると思う。工夫次第ではもっと地域と連携できると思う。</p> <p>○来年度もコロナの影響が気になる場所ですが、通常どおりの実施ができればと思います。</p> <p>○権伝馬踊りの発表の場がなかったのは残念だった。</p> |
| | <p>地域人材の活用とキャリア教育の推進</p> <p>① 各学年において、地域人材・素材を活用した学習に積極的に取り組む。</p> <p>② キャリア教育について、これまでの取組を広げ、深めることで、「学ぶこと」「働くこと」について考えさせる場面の充実を図る。</p> <p>③ キャリア教育支援センターの人材や動画コンテンツ等の積極的な活用を図る。</p> | <p>○子ども達に伝えたいこと（5・6年）、いのちの教育（4年）、障がい者スポーツ体験・アイマスク体験（3年）等、外部から講師を招聘し、貴重な学びを得たとともに、キャリア教育にもつなげることができた。</p> <p>●コロナ禍で取組が難しいこともあった。</p> | 2. 4 | 3. 0 | <p>○キャリア教育支援センターをもっと活用してみたい。</p> <p>○来年度もこの項目は大切だと思います。</p> |